



## 貴重な生態系を回復させるため mangrove を植樹

インドネシアには世界でも最大級の mangrove 林があり、貴重な生態系の宝庫として保護していく必要があります。ベランタラ基金は、インドネシアの破壊された mangrove 林を回復させるため、リアウ州のシアク県などと共同で、12万6千本の mangrove を植樹しました。このほかにも、インドネシア各地で mangrove の植樹を実施しています。



## インドネシアの人々に苗木を配布して森林保護を呼びかけ

ベランタラ基金は「世界アースデイ」などのイベントに参加し、インドネシアの人々に毎年200万本の苗木や種を無料で配布しつつ「木を植えることで地球を救いましょう」と呼びかけています。また、インドネシア国内で熱帯林保全に関するシンポジウムを開き、貴重な生態系保護の重要性を知らせるとともに、政府機関や関係者との協力関係を築いています。

## インドネシアの貴重な生態系を守る



# ベランタラ基金 特集



### APP が 2015年に設立

インドネシアの熱帯林は面積が広いうえ、絶滅危惧種に指定されたトラやゾウなど希少な生物のすみかとなっているなど、地球上に残された大変貴重な森林です。インドネシアの紙パルプ企業グループ APP は、インドネシアの森林保護を目的として、2015年にベランタラ基金を設立しました。

「ベランタラ」とは、インドネシア語で「原始の森」という意味。基金とは、ある目的のために企業や個人の寄付などの資金で運営される団体のことです。

APP は、自社で管理している植林木と自然林を守っていますが、スマトラゾウやスマトラトラ、オランウータンといった森の動物たちは、餌や水を求めて広い縄張りを歩き回ります。さらに、自社で管理している森林で起きた火災を消火することはできても、隣接した森林で発生した火災のもらい火を受けてしまうこともあります。そのため、自社で管理している森だけでなく、その周辺にある森林も含めて保護していく（これを景観レベルの森林保護と言います）必要があると考え、そのためにベランタラ基金を設立しました。特に今年からは、森林再生や森林保護を持続可能な活動にするために、地域住民の支援を中心に行っています。こうした、森林の保護と貧困にあえぐ地域住民の支援は、国連の持続可能な開発目標（SDGs）にも幅広く貢献しています。



## 10か所の重点地域を国際NGOなどと協力して保護

ベランタラ基金は、インドネシアのスマトラ島とカリマンタン島の10か所を重点保護地区として指定し、自然を保護する取り組みを開始しました。現在は APP から独立し、イギリスのロンドン動物学会やオランダの IDH（持続可能な貿易を推進する団体）などと協力して、荒廃した森林の再生や絶滅危惧種の保護、地域住民の生活支援に取り組んでいます。詳しくは <https://www.belantara.or.id/> をご覧ください。



しんりん ほご せいかつすいじゅん こうじょう さまざま かつどう てんかい  
**森林保護と生活水準の向上に向け様々な活動を展開**



**きれいな水へのアクセスのための行動を訴える**

水は飲み水やシャワーや洗濯など毎日の生活に欠かせない大切なものですが、インドネシアのとくに都市部から離れた地域には、きれいな水を手に入れない人々が大量に、深刻な問題となっています。国連の持続可能な開発目標（SDGs）の6番目の目標も「すべての人々に水と衛生へのアクセスを」となっています。

ベランタラ基金は今年4月22日の「世界水の日」シンポジウムに参加して、「きれいな水へのアクセスの重要性」について専門家や政府機関、民間企業、研究者などとディスカッションを行い、この問題の解決に向けた行動を訴えました。



**野生動物保護のための調査手法の研修を実施**

インドネシアには、絶滅危惧種のスマトラゾウやスマトラトラ、オランウータン、ジャワサイなどの貴重な野生動物が多く生息しています。ベランタラ基金は、インドネシアの貴重な野生動物を保護するため、今年3月、西ジャワ州の人々を対象に、スマートセンサーやGPS、カメラなどを使って野生動物の行動や頭数、その変化を把握するための研修を実施しました。こうした調査で得られた野生動物のデータは野生動物の保護のために役立てられます。



**今年もやりました！ 日本からスマトラ島1万本植樹プロジェクト**

2019年9月1～5日、APPジャパン主催のスマトラ島1万本植樹プロジェクトが開催されました。メディア関係者、NGO、取引先、ボランティアなど日本から20名が参加しました。リアウ州での植樹活動のほか、紙パルプ工場や、研究開発センター、APPが支援している農村、スマトラゾウの保護エリア、森林火災のモニタリングルームなども見学しました。来年も計画しているので、興味がある方はふるってご参加ください。

●「これまで毎年の様に海外視察に参加しました。お世辞抜きで今回のAPPがベストと思います。APPの取組も素晴らしいものです、今回の視察での学習は今後のビジネスにつながります。」（お取引先様）

●「見てみないと分からないことがたくさんある。村に訪問して農民の方々の生活を見ることができたこともよかった。」（ビジネス誌メディア）

●「非常に興味深く、ものすごく得るものがたくさんあった。本当に参加してよかった。ある意味ライバル社である私にも公開して見せることのできる自信を感じた。」（国内製紙メーカー）

ねったいりん ほご  
**インドネシアの熱帯林保護のため、ご協力をお願いします**

ききん きふ  
**ベランタラ基金への寄付・協力の方法**



① **ベランタラ基金のウェブサイトから寄付をする**

<https://kawan.belantara.or.id/>（英語）にアクセス「動物保護」「自然保護」「地域住民支援」のどれに寄付をしたいか選んでクリックしてもらい、その後金額を選んでください。IDR5～100万（約50～1000円）から選べます。クレジットカードで寄付ができます。

② **コピー用紙「ペーパーライン」を購入する**

APPジャパンのコピー用紙「Paperline Copypaper -6年目の収穫-」を買っていただくと、1冊（500枚）ごとに1円がベランタラ基金に寄付されます。

③ **企業やNGOとして協力、貢献する**

会社として、または非政府団体（NGO）として、具体的な取り組みを希望されている場合は、ベランタラ基金までご連絡ください。info@belantara.or.id（英語）

ベランタラ基金ウェブサイト（英語）<https://belantara.or.id/> 基金の活動やニュースレターなどがご覧いただけます。